

令和7年(2025)7月教育委員会定例会 会議録

令和7年(2025)7月22日(火)午後2時00分、出雲市教育委員会定例会を出雲市役所3階庁議室に招集した。

(1) 会議に出席した者

教育長	杉谷 学
委員(教育長職務代理)	川田量子
委員	奥 康人
委員	布野和弘
委員	鳥屋尾あかね

(2) 欠席した者

なし

(3) 説明のため会議に出席した者

副教育長	金築健志
教育部次長(学校教育課長)	矢田和則
教育部次長(児童生徒支援課長)	原田 尚
教育部次長(教育政策課長)	山根裕恵
教育施設課長	古川 薫
学校給食課長	山内泰治
出雲科学館館長	曾田浩司
学校教育課主査	園山正樹
児童生徒支援課主査	小林 剛
学校教育課課長補佐	高見哲也

(4) 会議の書記

教育政策課主査	池尻精二
---------	------

(5) 傍聴者

0名

開会

(杉谷教育長)ただいまから、令和7年7月出雲市教育委員会定例会を開会いたします。本日の会議は、お手元に配付している日程のとおりでございます。

日程第1 教育委員会感謝状の贈呈

(杉谷教育長)日程第1 まず、はじめに、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。教育政策課 山根次長 お願いします。

(山根教育部次長)みなさま、ご起立ください。ただいまから、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、先月6月定例会にて贈呈を決定いたしました出雲市立上津小学校に関連いたします嘉本 秀男様と嘉本 育子様でございます。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申し上げます。

(ご功績の紹介)

(山根教育部次長)先般、開催されました出雲市教育委員会6月定例会において、出雲市教育委員会感謝状贈呈要綱第5条の規定により感謝状贈呈が決定されましたので、本日、教育委員会感謝状を贈呈するものであります。それでは、杉谷教育長から、感謝状を贈呈させていただきます。

(杉谷教育長)(感謝状を被表彰者へ贈呈)

(山根教育部次長)それでは、ここで、一言ご挨拶をお願いいたします。

(嘉本秀男様)(挨拶)

(嘉本育子様)(挨拶)

(山根教育部次長)以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。ここで、写真撮影を行いますので、みなさまお願いいたします。

(写真撮影)

(山根教育部次長)ありがとうございました。みなさまは、ここで退席されます。

日程第2 教育長行政報告

(杉谷教育長)次に、日程第2「教育長行政報告」を行います。

(以下、報告項目のみ掲載)

① これまでの動向(R7年6月30日以降)

R7. 7. 1	出雲市奨学事業運営委員会 社会を明るくする運動メッセージ伝達式(市民会館)
R7. 7. 8	島根県市町村教育委員会連合会理事会(オンライン)
R7. 7. 9	学校訪問(河南中校区小中学校)
R7. 7.10	小・中学校長会
R7. 7.11	第2回保幼小連携推進委員会
R7. 7.14	出雲市議会公有財産活用特別委員会
R7. 7.17	中国地区市町村教育委員会連合会理事会、研修大会(～18日)
R7. 7.22	教育委員会7月定例会

② 今後の予定

R7. 7. 23	スクールランチクッキング（出雲学校給食センター）
R7. 7. 24	第 1 回教育政策審議会
R7. 7. 25	雲伯都市教育長会（安来市）
R7. 7. 28	県知事要望、いじめ対応校長面接（～8 月 7 日）
R7. 7. 29	島根国スポ、全スポ準備委員会第 6 回総会（松江市）
R7. 7. 30	市長と校長会との懇談会
R7. 7. 31	島根県都市教育長会第 2 回定例会、研修会（出雲市内）
R7. 8. 3	出雲市戦没者追悼式典（市民会館）
R7. 8. 5	第 2 回教育政策審議会
R7. 8. 6	中学生サミット
R7. 8. 8	全日本特別支援教育研究連盟中国・四国地区研究大会 （大社小、大社中、大社文化プレイスうらら館）
R7. 8. 16	出雲神話まつり
R7. 8. 18	県教育長要望（県教育庁）
R7. 8. 19	平和学習島根ふるさと読本贈呈式
R7. 8. 21	第 3 回教育政策審議会 島根中央炊飯センター新社屋竣工 5 周年記念式典
R7. 8. 22	小・中学校長会
R7. 8. 24	出雲市同和教育講演会（市民会館）
R7. 8. 26	教育委員会 8 月定例会

日程第 3 会議録の承認

（杉谷教育長）続きまして、会議録の承認に入ります。前回 6 月定例会の会議録につきまして、ご覧頂いたと思いますが、何か意見等はありませんか。

（各委員）なし。

（杉谷教育長）特に御意見等がありませんので、6 月定例会の会議録については承認することといたします。署名につきまして、会議終了後をお願いいたします。

日程第 4 議事

（杉谷教育長）続いて、日程第 4 「議事」に入ります。議第 3 1 号から議第 3 3 号までの 3 議案につきまして一括議題とさせていただきます。まず、「議第 3 1 号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を教育政策課 山根次長から説明願います。

（山根教育部次長）（資料を用いて説明）

（杉谷教育長）先ほどの説明につきまして、委員のみなさまから質疑ございましたらお願いいたします。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)ないようです。「議第３１号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認することについて、御異議ございませんか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)異議なしと認めます。「議第３１号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認いたします。次に、「議第３２号 学校医の委嘱について」、を教育政策課 山根次長から説明をお願いします。

(山根教育部次長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)先ほどの説明につきまして、委員の皆様から質疑ありましたら、お願いいたします。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)質疑ないようでございます。「議第３２号 学校医の委嘱について」を承認することについて、御異議ございませんか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)異議なしと認めます。「議第３２号 学校医の委嘱について」を承認いたします。続いて、「議第３３号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を教育政策課 山根次長から説明をお願いします。

(山根教育部次長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)さきほどの説明につきまして、委員のみなさまから、質疑ございませんでしょうか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)特に質疑ないようでございます。「議第３３号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を承認することについて、御異議ございませんか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)異議なしと認めます。「議第３３号 出雲市教育委員会感謝状贈呈

者の決定について」を承認いたします。議事は以上でございます。

日程第5 報告

(杉谷教育長)次に、日程第5 報告に入ります。「報告(1) 令和7年度教育委員会委員学校訪問について」、を教育政策課 池尻主査から説明願います。

(池尻教育政策課主査)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)委員の皆様、初めて出かけられた学校もあったかと思います。それぞれの学校について、あるいは全体的な印象でもよろしいですし、少し気になったというような事柄であってもよろしいかと思います。それぞれの委員さんから、感想なりご意見なりをいただけたらと思っております。まずは、川田委員の方から順にお願いいたします。

(川田委員)全体的な感想、すごく強く印象に残っているのが、地域との連携がどこも取りにくいのかなと。地域、学校、家庭にちょっと入りにくいようになってきているのかなという印象があります。不登校の問題とか、課題はあるのだけれど、地域の方との連携が昔より出来にくくなっているのかなという印象がありました。学校は、それぞれ明るく元気に頑張っている様子が見えました。それはそれで安心したのですが、校長先生のお話から小さな学校でも個々の問題が、いろいろ、様々あるのだなという感じを受けました。先生が言われるほど、学校全体の問題ではないかもしれないけれど、すごく小さなことに細やかに気を配っておられます。1人の子のことが気になるんだよみたいな感じの話をされて、すごく温かい中で教育を受けているなという感じはしました。プールの授業を久しぶりに見ました。昔ながらのプールの中で、子どもたちが、ラッシュガードを着て、しているのが、今どきと古きよき時代とが混在していてシュールな感じでした。暑い中、良い風景ではあるし、なんか、水の管理が大変だとか、ネガティブな意見もあるのですが、3連休の際に水の事故の話を知ると、水泳の授業も大事だなとそういう印象でした。

(杉谷教育長)奥委員。

(奥委員)3校とも共通して、子どもたちは元気に、教室の中で授業も拝見しましたが、きっちり対応する姿勢を見受けました。これから児童生徒数が増えていくというような状況があるというお話も聞いたりしました。やっぱり神門地区は、大きいのだなと改めてそう思いました。今、おっしゃったのですが、地域の方々に多数応援していただけているということは、各学校長の皆さんがおっしゃいましたので、安心しております。こうやって、暑い日も続いておりますけれども事故なく過ごして欲しいなということを、また改めて、思いました。

(杉谷教育長)布野委員。

(布野委員) 地元でしたので、久しぶりにいろんな中学校、小学校を見させてもらいました。神戸川小学校につきましては普段通りの子どもたちの姿が見えたかなという感じでした。知ってる子どもさんもいて、私の顔を見て、いろいろなアクションを送っている子もいました。普段通り元気に頑張っているなという姿が見られてよかったです。河南中学校に関しましては、私も今年度から本格的に中学校の子どもさんの、不登校の関係の送迎を先生とのコミュニケーションをとりながらやっています。やっぱりよかったかなと。先生方といろいろ今話し合いの場が持たれるようになってきますので、この延長線上で、できるだけ支援ができたらと思っています。今朝もそうでしたけれども、夏休みが始まったかどうか、お母さんわからなかった。書類等も取りに来てくださいということでした。もう少し我々地域もサポートしながら。お母さん方も子どもさんに手をとられて、仕事もある中では、飛んでしまっているのかなという気がしましたので、その辺は反省しながら活動していけばいいかなと思います。最後に神西小学校ですが、神戸川小学校は規模、児童数が3倍近いので、いろんな方に聞いても、不登校が確かに少ない。各クラスともまとまっているという印象です。規模の関係とクラス配置、神戸川は多いと4クラス、片や1クラスという感じですので、まとまりとか、いろんな場面でのチームワークに見られるかなと思いました。

(杉谷教育長) 鳥屋尾委員。

(鳥屋尾委員) 私、今回初めてだったのですけれど、ハード面が見ていて、こんなに差があるのかと思いました。神戸川小学校は、明るいというか、木目で温かい感じがしたのです。神西小学校は、鉄骨の柱のバツテンが目立って、図書室の本が廊下に出ていたところがあって、なんとかしてあげたいな、何とかしてもらえないかなと親目線で思いました。日に焼けた本が、結構目立っていて、どうかなと思いました。トイレのスリッパとかすごくどの学校もちゃんと揃えられていて、子ども達ちゃんとやっているんだというところも見ました。和式のトイレだった神西小学校に関して、思うところもありました。私も湖陵ですけれど、今は和式のトイレは使わなくて、どこか行くときに、先生方が、和式トイレの練習をさせておいてくださいと言われることがありました。教員もちょっとトイレまではっていうことを言われたので、どうしておられるんだろうと思っていました。トイレのことと図書室のことは気になりました。神戸川小の校長先生からは資料をいただきました。これから子どもたちの数が増えると言っておられました。個別で支援をする子どもが増えたりしないのかというのもあり、教室が足りるのか、数は大丈夫なのかと。いじめの件数のこと、今どんな感じの支援をしていて、このぐらい解決に至りましたっていうところも聞いたりして、先生方しっかり頑張っておられるんだなっていうのを感じました。河南中の子どもたちの頑張りを、校長先生がすごく喜んだ感じでおっしゃっていただいて、いい学校だなと思いました。次回の学校訪問もすごく、いろんな目で見たいと思います。

(杉谷教育長) 何か、事務局側からコメントがありますか。

(古川教育施設課長) トイレにつきましては、ご指摘の通り、まだまだ和式トイレがある状況です。令和3年には、各トイレに1つずつは洋式トイレをとということで、一定の整備が終わったところです。おっしゃるように、十分対応しているかという、そうではないということは理解しております。何分、数が多くて、整備するのは難しい状況であるということをご理解いただきたいと思います。当然、改修の折には、できる限り、進めて参りたいと思っています。特に、1年生のお子さんは、特に慣れていないということもあります。そういったところには、配慮するよう学校と相談しながら進めております。図書室ということですが、神西小学校は、築年数も古い学校でございます。図書室も昔の規格で作っております。神戸川小学校と、同じという訳にはいかないと認識しております。図書室に入り切らなくて、廊下に置いているという状況もあるので、できる限り学校の意見を聞きながら、対応したいと思っておりますので、よろしくお願いします。年に1回は営繕要望調査ということで、各学校全部回っております。学校の話聞いて対応できるところは、対応していきたいと思えます。

(杉谷教育長) 神戸川小学校は、増えていきますけれど、教室不足はないですね。

(古川教育施設課長) 神戸川小学校につきましては、推計では、児童数が増加する見込みです。現時点では、保有する教室で対応できることを確認しております。今後の動向によっては、不足することもあると思いますけれども、他に、活用できる教室もありますので、そういったものをうまく使いながら、対応していきます。

(杉谷教育長) 違う視点で見ていただいたり、率直なご意見をいただき、ありがとうございました。学校の要望を聞きながらできるだけ、環境を整えるように努力はしています。古いというのはなかなかいかんともしがたいところもあります。今回のように、比較的新しい学校とそうでない学校に行かれると、どうかかなと思われたかもしれません。日々努力してもらっておりますので、よろしくお願いします。次に「報告（2） 中国地区市町村教育委員会連合会研修大会について」、を教育政策課 池尻主査から説明をお願いします。

(池尻教育政策課主査) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長) この研修について、得られたことであるとか、感想であるとか、何でも結構でございます、ご出席いただいた3名の委員さん、これも順にお願いします。川田委員。

(川田委員) このような2日間、貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。いろんな、市町村の方に会々と、2年前出雲でお世話になりましたという話から始まってとてもよかったよということをしていただきました。事務局の皆さんのご苦勞が本当にわかりました。その時にあった方々とも、今回再

開することができ、本当にいい機会でした。実践発表は、すごく心に残りました。玉野市も海田町2つとも、似たような課題、学校再編だったり、不登校、DXとか、多様化だったり変化の中におられて、そういういろんな変化に耐えご苦労しながらも対応されていて、その中でも学校づくりをしていらっしゃるというのがよくわかった発表でした。そういう中でも、子どもたちを中心に考えておられるなというのが、私の印象でした。海田町の子ども議会、そういう取組みも非常に印象的ですし、玉野市は何か、キャッチフレーズはここにも書いてありますけど、誰もが行きたくなる魅力ある学校ということで、基本理念が、「たまので育つ、TAMANOが育つ」でした。子どもたちを中心にやっていこうというそういう感じが、よくわかる発表でした。地震の記念講演難しかったのですが、昔の方々の残したものが本当に貴重なんだなというか、口述であったり、その資料であったりそういうことを、残しておくことがすごく大事なことだなと思いました。こういう研究をされてる人がいるのだとびっくりしましたし、やっぱり歴史を勉強することは、大事なことなのだなというのが、印象です。AIとかテクノロジーなどもどんどん進んでいくけれども、それも大事ですが、古き良き物を大事にするということも必要かなという感じを受けました。

(杉谷教育長)奥委員。

(奥委員)もうすべて今、川田委員がおっしゃいましたので、言うことはありません。2日間という日程の中で、直接、いろんな各県の教育長さんとお話をさせていたことがありました。本当に、いろいろな取組みが近県で行われているのだなと改めて思いました。そして情報を、アンテナを高くして、私どももその情報を捉えていきたいと。また直接こういう話ができる機会には、ぜひ参加をしていくことが有益なんだろうなということを改めて思いました。

(杉谷教育長)布野委員。

(布野委員)私も初めて参加させていただきまして、本当に有意義な会議だったなと思っています。最近、いろんな学校見させてもらって、やっぱり地域の人々が本当にすごく頑張っているなど。地域にある伝統文化、それが踊りであれば、それをきちんと子どもたちが引き継いでいるというのが、今回のところでも何か所か見られました。地域を大事にして、嫌なこと、災害もそうでしたけれども、経験した子どもほど、その体験を生かして、今後どうしたらいいかということ子どもたちに考える。そういうことがあったから、次のステップがあるのかなということを感じさせてもらいました。地域で困ったときは、情報をいかに入手するかっていうところは、高齢者は本当に苦手なので、小学校や中学校の子どもさんたちが慣れてくると、今はこうなっているという情報があれば、地域の人々が、子どもたちからの指示によって動き出すということもあるのかなと。これからは、地域と子どもたちと、小学校、中学校、幼稚園も保育園もだと思いたすけれども、何かそういった形で、この地域を盛り立ててるものは、これからの子どもたちにあるのかなあという気がしました。いい具合に子ども

は育ってきたなあというのが見れたらいい。何かそれが本当に今の地域を引っ張ってくださる子どもで、これから就職しても帰ってくるかなという息吹が垣間見れたような気がしました。皆さん方と色々な話をしましたがけれども、不登校問題が出てきました。いろいろ困っている、どうしたらいいかという答えがなかなか見つからないです。私もいろんな方と話したのですが、一人一人が全部問題が違うので、解決するにしても、どういうふうに手を差し伸べて、どういうふうな支援をしたらいいのか、本当に見えないなと思いました。情報を収集してそれを保護者の方と、学校と連携させていくしかできないのかなと思いました。勉強していかないといけない問題がいっぱいあるかと思いますが、大変参考になった研修だったと思っています。

(杉谷教育長) 同じ課題があるなとそう思ったのです。特に、玉野市は、再編統合の真っ只中、これからだという中で、非常にエネルギーがかかっているなというのを感じました。出雲市でいうと、平成24年、25年あたりの状況かなと思って聞かせていただいてました。小学校14校を6校にすると、中学校7校を3校にするっていう計画で進んでいると。大体の方向性が、今こういう形になって、何とか進められそうだという話でした。玉野市立の荘内中学校の取組みを最後紹介されました。誰もが行きたくなる魅力ある学校ということで、校長先生が生徒に向かって、学校を君たちにあげるという宣言をして、校則も全部お渡ししますと。そういう学校づくりをしてるといことの紹介がありました。かなり大胆なやり方ですけど、資料を見たり話を聞いたりする限り、うまくいってる学校のようにです。海田町については、説明されなかったのですが、資料見てびっくりしたのは、全国学調のスコアが全国平均より10ポイントぐらい高いというところでした。どうやったのならそのぐらいいいのかなと思いながらちょっと、そういう話は全くなかったのですが。メインは子供議会のことでした。出雲市も中学生議会っていうのをやってきました。今は、先ほど紹介した中学生サミットに変えたのですが、どうもこの海田町のこの子供議会も随分長くやって、おられるんです。せっかく議会でいろいろ質問をしたり、それまでで質問を考えたりするところまでは、何とか中学生もやるのだけれど、そのあとのまとめまで行かないという、これが最大の課題のように聞きました。小学生は、終わりまで、まとめができる。小学生はそこで答弁してもらったことを、もう1回自分たちで止めて、再提案というか、自分たちはそれを聞いてこういうふうに考えましたっていうところまで、学年末に持っていけると。それでないと学習の位置付けにならないということをおっしゃったような気がしました。地震の話さきほど、難しかったとおっしゃっていたのですが、お話自体難しい話でした。データじゃないっていうところ。歴史が証明している。それが何かというと、古代の人たちが残した文献だということで話があって、そこは納得してききました。予測はできないし、何年後に起きるとは断言できないけれど、必ず、大地震が起きるってことは間違いのないという話をされたのだと思っています。過去に学ぶというのは、すごく大事なことでなっていることを、改めて思いました。以上で、報告とさせていただきます。次に、「報告(3) 教育委員会の後援について」、を教育政策課 山根次長から説明をお願いします。

(山根教育部次長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)さきほどの説明につきまして、委員のみなさまから、質疑ございませんでしょうか。

(各委員)なし。

日程第7 次期教育委員会の開催時期

(杉谷教育長)次期、教育委員会の開催について、お伝えいたします。8月26日火曜日 午後2時から、会場は、6階の全員協議会室で開催いたします。

開会

(杉谷教育長)では、以上をもちまして令和7年7月、出雲市教育委員会定例会を閉会といたします。

(山根教育部次長)皆様、ご起立願います。一同 礼。

【閉会】(午後3時1分)